
EXCEL帳票特集

QA一覧

【QA092】帳票機能改善(pageEndCutによる中抜き処理)

【QA098】帳票機能改善(表紙機能)

【QA111】帳票データの部分再出力をしたい

【QA112】帳票データのレイアウトの確認をしたい

【QA113】帳票で2次元バーコードのQRコードを出力したい

【QA114】帳票の雛型となる2次元バーコードを出力したい

【QA115】帳票で同一要求番号でのキーブレイク処理をしたい

【QA116】帳票デーモンの印刷処理でタイムアウトを指定

【QA117】帳票デーモンをマルチスレッドで起動したい

【QA118】帳票デーモンのマルチスレッド化で問題がありますか

【Q092】帳票機能改善(pageEndCutによる中抜き処理)

【A092】中抜きしたい行に PAGE_END_CUT という文字を記述しておきます。

【作業分類】帳票機能改善、赤穂殿ご依頼

【前提条件】

Ver 3.6.0.0(2004/09/17) 以降

pageEndCut フラグを、true に設定

【解説】

pageEndCut の動作で、true に設定した場合、ページの終了か、改ページが見つかるまでの中間行に、PAGE_END_CUT という文字列が、入っている行のみ、削除します。

元は、フッターが存在していたら、処理しない仕様でしたが、データ量に応じて最後に表示させるフッター部の位置を移動させたいという要望に対応しました。フッター部を固定(レイアウトを固定)する場合は、pageEndCut フラグを、falseに指定して下さい。

【サンプル】

dbdef2¥def¥SampleTemplate¥TEST6.html

Microsoft Excel - TEST6.html

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式(O) ツール(T) データ(D) ウィンドウ(W) ヘルプ(H) 100% MSゴシック 11

B168 = PAGE_END_CUT

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
168			161	{@LANG 160	{@SEQNO	{@GUIKEY 16	{@CLASSIF	{@LNAME 160}					
169		PA	162	{@LANG 161	{@SEQNO	{@GUIKEY 16	{@CLASSIF	{@LNAME 161}					
170		PA	163	{@LANG 162	{@SEQNO	{@GUIKEY 16	{@CLASSIF	{@LNAME 162}					
171		PA	164	{@LANG 163	{@SEQNO	{@GUIKEY 16	{@CLASSIF	{@LNAME 163}					
172		PA	165	{@LANG 164	{@SEQNO	{@GUIKEY 16	{@CLASSIF	{@LNAME 164}					
173		PA	166	{@LANG 165	{@SEQNO	{@GUIKEY 16	{@CLASSIF	{@LNAME 165}					
174		PA	167	{@LANG 166	{@SEQNO	{@GUIKEY 16	{@CLASSIF	{@LNAME 166}					
175		PA	168	{@LANG 167	{@SEQNO	{@GUIKEY 16	{@CLASSIF	{@LNAME 167}					
176		PA	169	{@LANG 168	{@SEQNO	{@GUIKEY 16	{@CLASSIF	{@LNAME 168}					
177		PA	170	{@LANG 169	{@SEQNO	{@GUIKEY 16	{@CLASSIF	{@LNAME 169}					
178		PA	171	{@LANG 170	{@SEQNO	{@GUIKEY 17	{@CLASSIF	{@LNAME 170}					
179		PA	172	{@LANG 171	{@SEQNO	{@GUIKEY 17	{@CLASSIF	{@LNAME 171}					
180		PA	173	{@LANG 172	{@SEQNO	{@GUIKEY 17	{@CLASSIF	{@LNAME 172}					
181		PA	174	{@LANG 173	{@SEQNO	{@GUIKEY 17	{@CLASSIF	{@LNAME 173}					
182		PA	175	{@LANG 174	{@SEQNO	{@GUIKEY 17	{@CLASSIF	{@LNAME 174}					
183		PA	176	{@LANG 175	{@SEQNO	{@GUIKEY 17	{@CLASSIF	{@LNAME 175}					
184		PA	177	{@LANG 176	{@SEQNO	{@GUIKEY 17	{@CLASSIF	{@LNAME 176}					
185		PA	178	{@LANG 177	{@SEQNO	{@GUIKEY 17	{@CLASSIF	{@LNAME 177}					
186		PA	179	{@LANG 178	{@SEQNO	{@GUIKEY 17	{@CLASSIF	{@LNAME 178}					
187		PA	180	{@LANG 179	{@SEQNO	{@GUIKEY 17	{@CLASSIF	{@LNAME 179}					
188		PA	181	{@LANG 180	{@SEQNO	{@GUIKEY 18	{@CLASSIF	{@LNAME 180}					
189		PA	182	{@LANG 181	{@SEQNO	{@GUIKEY 18	{@CLASSIF	{@LNAME 181}					
190		PA	183	{@LANG 182	{@SEQNO	{@GUIKEY 18	{@CLASSIF	{@LNAME 182}					
191		PA	184	{@LANG 183	{@SEQNO	{@GUIKEY 18	{@CLASSIF	{@LNAME 183}					
192		PA	185	{@LANG 184	{@SEQNO	{@GUIKEY 18	{@CLASSIF	{@LNAME 184}					
193		PA	186	{@LANG 185	{@SEQNO	{@GUIKEY 18	{@CLASSIF	{@LNAME 185}					

サンプル

図形の調整(R) オートシェイプ(U)

コマンド

PAGE_END_CUT という文字列を、中抜きしたいデータ行に追記します。この例では、白色の文字にして印刷時に見えなくしています。

帳票定義マスタ登録

HELP REPO5 2004/09/08 18:30:52
 戻る query.jsp C00000 : システム管理者

システムID: GE 雛型ファイル名: 詳細: Minute
 帳票ID: TEST6 帳票名称: 検索順: 帳票ID
 検索(F) クリア ◀ BACK NEXT ▶ 表示件数: 100

帳票定義マスタ登録 REPO5 result.jsp C00000 : システム管理者
 1 件検索しました。

複製(C) 変更(M) 削除(D) 保存 開く [1 - 1]/[1]

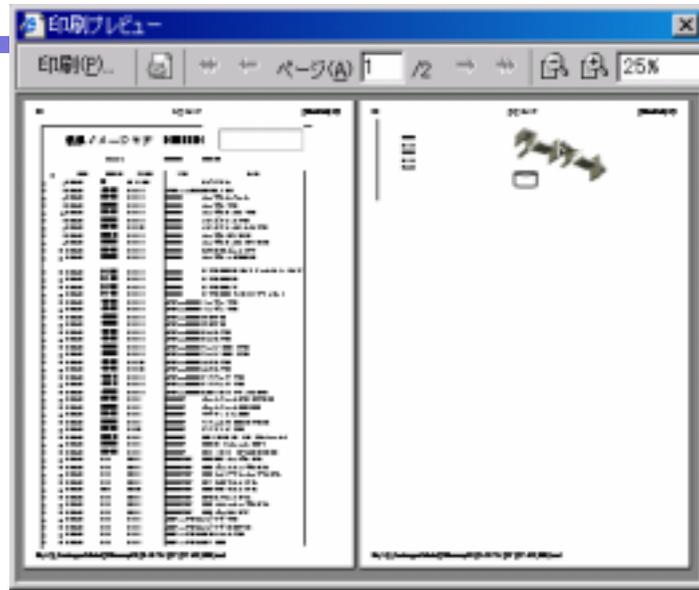
<input type="checkbox"/>	No	帳票ID	帳票名称	雛型ファイルDIR	雛型ファイル名	PECフラグ	コメント	システムID	状態フラグ	登
<input type="checkbox"/>	1	TEST6	テスト6 縦型特殊ページ	D:\webapps\report\def\SampleTemplat		False		GE	活動中	2004/0

雛型ファイル名	PECフラグ
e TEST6	True

雛型ファイル名	PECフラグ
TEST6	False

true に設定すると、改ページ以降のデータがなく、かつ、PAGE_END_CUT という文字列のある行は、削除

false に設定すると、改ページまで、レイアウトをそのままに保ちます。



種類ファイル名	PECフラグ
TEST6	True

true に設定すると、改ページ以降のデータがなく、かつ、PAGE_END_CUT という文字列のある行が削除されていることがわかります。



【Q098】帳票機能改善(表紙機能)

【A098】1枚目の雛型ファイル名を、xxxx_FIRST.html で作成してください。

【作業分類】帳票機能改善

【前提条件】Ver 3.6.0.0(2004/09/17) 以降

【解説】

帳票の雛型ファイルに、初期ページを指定する機能です。

これは、1枚目だけ、別のフォーマットで印刷し、2ページ以降は、連続帳票で印刷させることを可能にします。

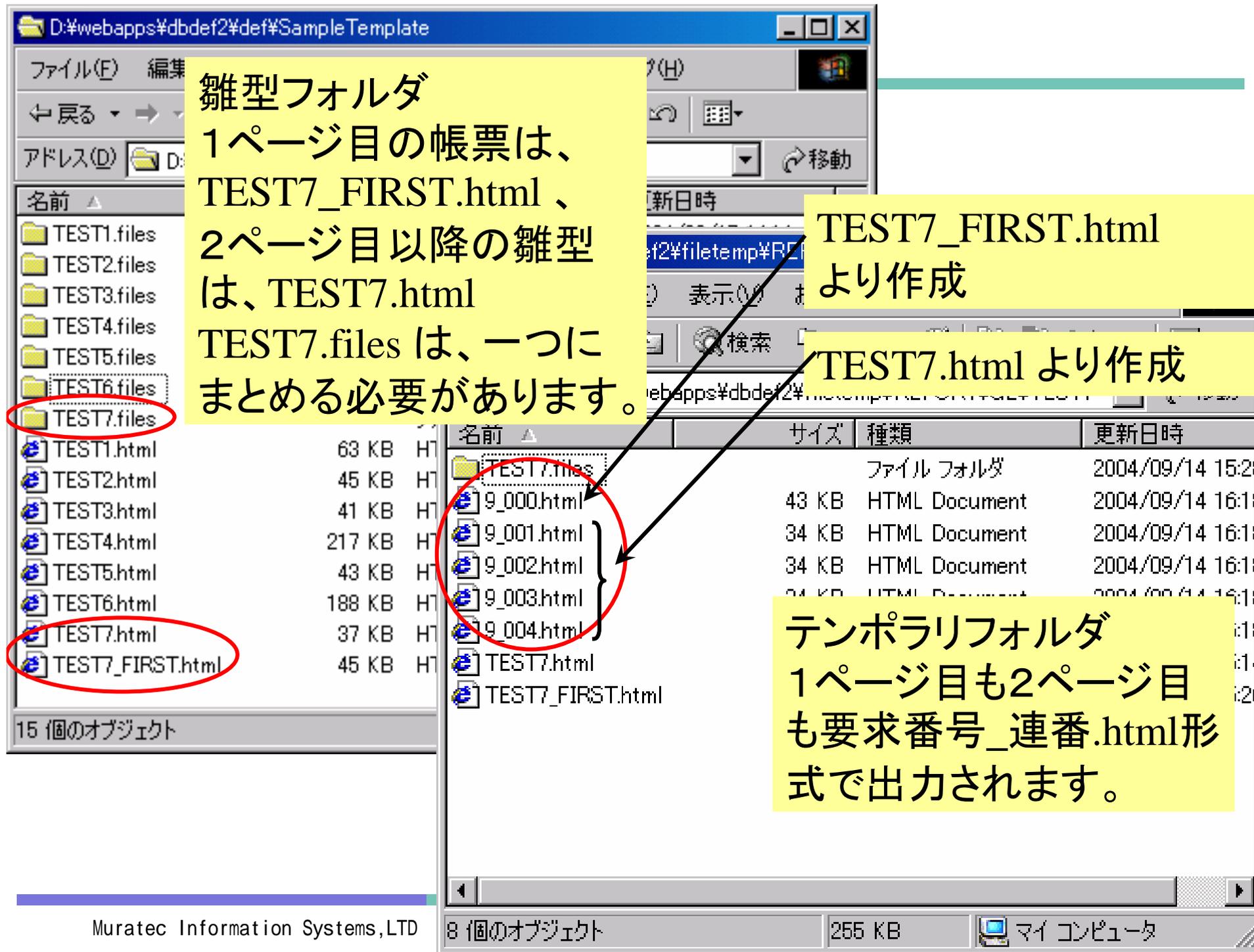
ファイル名は、xxxx_FIRST.html という名称固定になります。(雛型ファイル名としては、xxxx のみ指定となっています。)

この名称のファイルが存在すれば、1ページ目のみ使用します。

【サンプル】

dbdef2¥def¥SampleTemplate¥TEST7.html

dbdef2¥def¥SampleTemplate¥TEST7_FIRST.html



雛型フォルダ

1ページ目の帳票は、
TEST7_FIRST.html、
2ページ目以降の雛型
は、TEST7.html
TEST7.files は、一つに
まとめる必要があります。

TEST7_FIRST.html
より作成

TEST7.html より作成

テンポラリフォルダ

1ページ目も2ページ目
も要求番号_連番.html形
式で出力されます。

Microsoft Excel - 9_000.html

次ページ(N) 前ページ(P) 拡大(B) 印刷(T) 設定(S) 余白(M) 改ページ

サンプル 2004/9/14 16:30

帳票イメージです

No.	言語	表示順	画面ID	分類	名称
1	日本語	■	91LogOut		ログアウト
2	日本語	■	GE0000	メニュー	DEFAULT SET
3	日本語	■	GE0101	設定	テーブルスペース
4	日本語	■	GE0102	設定	テーブル定義
5	日本語	■	GE0103	設定	テーブルカラム定義
6	日本語	■	GE0104	設定	インデックス定義
7	日本語	■	GE0105	設定	インデックスカラム定義
8	日本語	■	GE0106	設定	テーブル差分検索
9	日本語	■	GE0107	設定	テーブルカラム差分検索
10	日本語	■	GE0108	設定	各種設定 データ設定
11	日本語	■	GE0109	設定	テーブル一覧表表示
12	日本語	■	GE0111	設定	DB定義操作(各リソースからDB定義)

1/2 9_000.html

印刷プレビュー: 1 /

TEST7_FIRST.html の雛型から作成された1ページ目の帳票

Microsoft Excel - 9_001.html

次ページ(N) 前ページ(P) 拡大(B) 印刷(T) 設定(S) 余白(M) 改ページ プ

サンプル 2004/9/14 16:30

帳票イメージです

AAAAA BBBB CCCCC

No.	言語	表示順	画面ID	分類	名称
1	日本語	■	GE0003	リソース	カラム定義
2	日本語	■	GE0004	リソース	コード(項目)定義
3	日本語	■	GE0004	リソース	コード(項目)定義
4	日本語	■	GE0005	リソース	ラベル定義
5	日本語	■	GE0006	リソース	ラベル定義
6	日本語	■	GE0008	リソース	メッセージ定義
7	日本語	■	GE0008	リソース	メッセージ定義
8	日本語	■	GE0007	リソース	propertiesファイル出力
9	日本語	■	OR401	ORACLE	データベース稼働状況監視
10	日本語	■	OR402	ORACLE	データベース履歴監視
11	日本語	■	OR403	ORACLE	オブジェクト監視
12	日本語	■	OR404	ORACLE	リソースの使用状況監視
13	日本語	■	OR405	ORACLE	セッション切断
14	日本語	■	OR408	ORACLE	EXPLAIN PLAN (SQLのトレース)
15	日本語	■	OR407	ORACLE	TRPROF (トレース解析)
16	日本語	■	OR408	ORACLE	DENS_STATS (統計情報収集)
17	日本語	■	REP01	帳票	帳票請求テーブル登録
18	日本語	■	REP02	帳票	帳票データテーブル登録
19	日本語	■	REP03	帳票	帳票レイアウトテーブル登録
20	日本語	■	REP04	帳票	帳票条件マスタ登録
21	日本語	■	REP08	帳票	出力先マスタ登録
22	日本語	■	REP08	帳票	帳票デモンストラ
23	日本語	■	00002	メニュー	タグリブ属性定義
24	日本語	■	00004	メニュー	差分検索
25	日本語	■	00008	メニュー	索引をマニュアル登録
26	日本語	■	00008	メニュー	sqllibカイクリファレンス
27	日本語	■	9100001	メニュー	標準レポート
28	日本語	■	9100201	メニュー	sql116のアクセス
29	日本語	■	isp0111gnt	メニュー	タグリブ SPWリポート
30	日本語	■	RTRER102	帳票	更新履歴管理登録
31	日本語	■	RTRER104	帳票	更新履歴登録
32	日本語	■	GANTT01	帳票	プロジェクトマスタ登録
33	日本語	■	GANTT03	帳票	タスクツリー登録
34	日本語	■	GANTT05	帳票	タスクリソース登録
35	日本語	■	GANTT07	帳票	リソース管理チャート
36	日本語	■	GANTT09	帳票	ガントチャート(タスク埋め)

AAAAA 帳票請求テーブル登録

1/1 9_001.html

印刷プレビュー: 1 / 1

TEST7.html の雛型から作成された2ページ目以降の帳票

【Q111】帳票データの部分再出力をしたい

【A111】データテーブル(GE51)の状態フラグの指示で検索対象から除きます。

【作業分類】 帳票アプリ修正 濱口殿 ご要望

【前提条件】 Ver 3.6.0.1 (2004/09/29) 以降標準

画面のみ導入すれば、全帳票システムで導入可能。

【解説】

EXCEL帳票アプリケーションの、帳票データテーブルで、部分再出力できる機能を追加。

これは、データを検索、帳票に渡す場合に、状態フラグ(FGJ)='1'のみを対象にしている為、データテーブル(GE51)の状態フラグを削除中(='8')にすることで、検索対象から除き、帳票再出力時に途中からの印字を可能とします。

ただし、削除は、枝番指定なので、実際に出力されている帳票のレイアウトやデータを確認し、自分で枝番を指定する必要があります。

DB定義DBシステム - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 検索 お気に入り メディア

要求Noと枝番指定でデータを指定。(削除するデータを選択)

グローバル登録

要求NO: 9 枝番: 20 テキスト: 状態フラグ: 枝番: 帳票ID: TEST7

検索(F) クリア BACK NEXT 表示件数: 100 1102 [ms]

帳票データテーブル登録 REP02 result.jsp C00000 : システム管理者

20 件検索しました。

複製(C) 変更(M) 削除(D) 状態フラグ(F) 保存 開く Verify(V) [1 - 20]/[20]

<input checked="" type="checkbox"/>	No	要求NO	枝番	テキスト	区分	状態フラグ						
<input checked="" type="checkbox"/>	1	9	0	ヘッダー		活動中	AAAAA	BBBBB	CCCCC	DDDDD	EEEEEE	X
<input checked="" type="checkbox"/>	2	9	1	フッター		活動中	FFFFFF	GGGGG	HHHHH	IIIII	JJJJJ	X
<input checked="" type="checkbox"/>	3	9	2	ボディ		活動中	GE	ja91LogOut		0		
<input checked="" type="checkbox"/>	4	9	5							1010	メニューなし	
<input checked="" type="checkbox"/>	5	9	5							2010	DB定義	
<input checked="" type="checkbox"/>	6	9	5							2020	DB定義	
<input checked="" type="checkbox"/>	7	9	6	ボディ		活動中	GE	jaGE0103		2030	DB定義	
<input checked="" type="checkbox"/>	8	9	7	ボディ		活動中	GE	jaGE0104		2040	DB定義	
<input checked="" type="checkbox"/>	9	9	8	ボディ		活動中	GE	jaGE0105		2050	DB定義	
<input checked="" type="checkbox"/>	10	9	9	ボディ		活動中	GE	jaGE0106		2060	DB定義	
<input checked="" type="checkbox"/>	11	9	10	ボディ		活動中	GE	jaGE0107		2070	DB定義	

全件選択後、状態フラグボタンで、すべてを削除中にできます。

ページが表示されました

イントラネット



帳票データテーブル登録

HELP 戻る REP02 2005/01/15 22:36:33
query.jsp C00000: システム管理者

システムID: 要求NO: 枝番: テキスト:

テキスト区分: 状態フラグ: 枝番: 帳票ID:

表示件数: 1102 [ms]

- 【ログアウト】
- 【DB定義】
- 【リソース定義】
- 【ORACLE】
- 【帳票管理】
 - 要求テーブル
 - データテーブル
 - レイアウトテーブル
 - 振分条件マスタ
 - 定義マスタ
 - 出力先マスタ
 - エラーテーブル
 - 帳票デモン
- 【ドキュメント】
- 【更新履歴管理】
- 【成果物・進捗管理】
- 【Type1(一覧登録)】
- 【Type2(明細登録)】
- 【Type3(エントリ)】
- 【Type4(一覧登録)】
- 【Type5(その他)】
- 【TypeS(検索)】
- 【サンプル】
- 【特殊機能】
- 【開発ツール】
- 【管理】
- 【検索】
- 【MIS】

帳票データテーブル登録

modifyFGJ.jsp C00000: システム管理者

メッセージ
変更処理を行います。

状態フラグを
削除中にする。

<input type="checkbox"/>	No	要求NO	枝番	テキスト区分	状態フラグ					
<input checked="" type="checkbox"/>	1	9	0	ヘッダー	削除中	AAAAA			GE	X
<input checked="" type="checkbox"/>	2	9	1	フッター	削除中	FFFFFF	GGGGG	HHHHH	IIIII	JJJJJ X
<input checked="" type="checkbox"/>	3	9	2	ボディ	削除中	GE	ja91LogOut			0
<input checked="" type="checkbox"/>	4	9	3	ボディ	削除中	GE	jaGE0000		1010	メニューなし
<input checked="" type="checkbox"/>	5	9	4	ボディ	削除中	GE	jaGE0101		2010	DB定義
<input checked="" type="checkbox"/>	6	9	5	ボディ	削除中	GE	jaGE0102		2020	DB定義
<input checked="" type="checkbox"/>	7	9	6	ボディ	削除中	GE	jaGE0103		2030	DB定義
<input checked="" type="checkbox"/>	8	9	7	ボディ	削除中	GE	jaGE0104		2040	DB定義
<input checked="" type="checkbox"/>	9	9	8	ボディ	削除中	GE	jaGE0105		2050	DB定義
<input checked="" type="checkbox"/>	10	9	9	ボディ	削除中	GE	jaGE0106		2060	DB定義

【Q112】帳票データのレイアウトの確認をしたい

【A112】帳票定義マスタ(GE54)のSQL文を利用してデータ分割のチェックができます。

【作業分類】 帳票アプリ修正 濱口殿 ご要望

【前提条件】 Ver 3.6.0.1 (2004/09/29) 以降標準

画面のみ導入すれば、全帳票システムで導入可能。

【解説】

EXCEL帳票アプリケーションで、帳票定義マスタ(GE54)のSQL文を利用して、データ分割のチェックができるVerify 画面が追加されました。

帳票ID(LISTID)が必要なので、手入力するか、帳票要求テーブル(REP01)画面の要求No欄のリンクが、データテーブル(REP02)へつながっている為、そのリンクから入ってください。

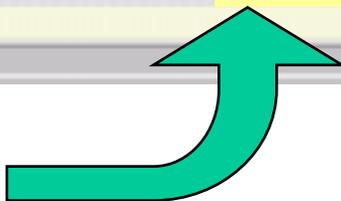
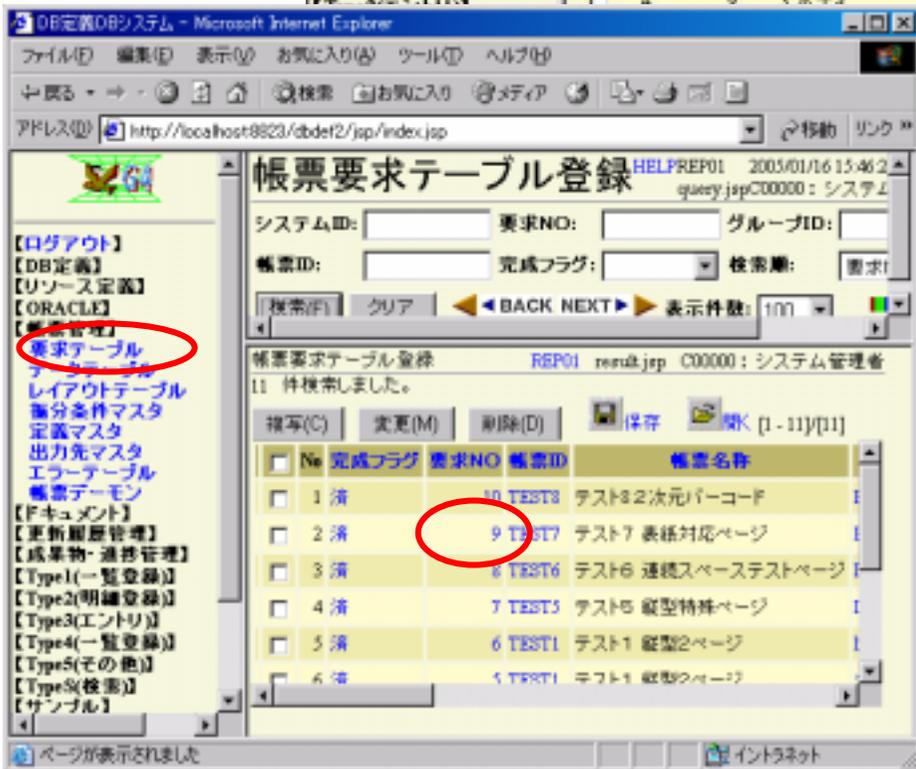
なお、このアプリケーションは、エンジンバージョンに関係なく導入可能です。



①要求テーブル一覧より要求Noカラムのリンクをクリック。



②帳票データが検索されます。帳票IDがセットされていることを確認。Verifyボタンを押すと、レイアウトに対応したデータで切り出します。





帳票データテーブル登録

システムID: GE 要求NO: 9 枝番: テキスト:

テキスト区分: 状態フラグ: 枝番: 帳票ID: TEST7

検索(F) クリア ◀ BACK NEXT ▶ 表示件数: 100

- 【ログアウト】
- 【DB定義】
- 【リソース定義】
- 【ORACLE】
- 【帳票管理】
 - 要求テーブル
 - データテーブル
 - レイアウトテーブル
 - 振分条件マスタ
 - 定義マスタ
 - 出力先マスタ
 - エラーテーブル
 - 帳票デモン
- 【ドキュメント】
- 【更新履歴管理】
- 【成果物・進捗管理】
- 【Type1(一覧登録)】
- 【Type2(明細登録)】
- 【Type3(エントリ)】
- 【Type4(一覧登録)】
- 【Type5(その他)】
- 【TypeS(検索)】
- 【サンプル】
- 【特殊機能】
- 【開発ツール】
- 【管理】
- 【検索】
- 【MIS】

帳票データテーブル登録 verify.jsp C00000 : システム管理者

1 件検索しました。
ヘッダー-SQL
[1 - 1]/[1]

<input type="checkbox"/>	No	HKEY1	HKEY2	HKEY3	HKEY4	HKEY5
<input type="checkbox"/>	1	AAAAA	BBBBB	CCCCC	DDDDD	EEEE

1 件検索しました。
フッター-SQL
[1 - 1]/[1]

<input type="checkbox"/>	No	FKEY1	FKEY2	FKEY3	FKEY4	FKEY5
<input type="checkbox"/>	1	FFFFF	GGGGG	HHHHH	IIIII	JJJJ

38 件検索しました。
ボディ-SQL
[1 - 38]/[38]

<input type="checkbox"/>	No	システムID	言語	画面ID	表示順	分類	名前(短)	名前(長)	ロールズ
<input type="checkbox"/>	1	GE	日本語	91LogOut	0		ログアウト	ログアウト	rw
<input type="checkbox"/>	2	GE	日本語	GE0000	1,010	メニューなし	DEFAULT SET	DEFAULT SET	-w
<input type="checkbox"/>	3	GE	日本語	GE0101	2,010	DB定義	テーブルスペース	テーブルスペース	DBDEF rw
<input type="checkbox"/>	4	GE	日本語	GE0102	2,020	DB定義	テーブル	テーブル定義	DBDEF rw
<input type="checkbox"/>	5	GE	日本語	GE0103	2,030	DB定義	テーブルカラム	テーブルカラム定義	DBDEF rw
<input type="checkbox"/>	6	GE	日本語	GE0104	2,040	DB定義	インデックス	インデックス定義	DBDEF rw

③帳票レイアウトに応じて
切り取ったデータを表示
します。

【Q113】帳票で2次元バーコードのQRコードを出力したい

【A113】EXCELでバーコードの画像の『図の書式設定』『Web』に、
{@QRCODE.XXXX} と記述。

【作業分類】 試験導入

【前提条件】 Ver 3.6.1.0 (2005/01/05) 以降標準

JAVA_HOME¥jre¥lib¥ext に、Qrcode.jar をインストール

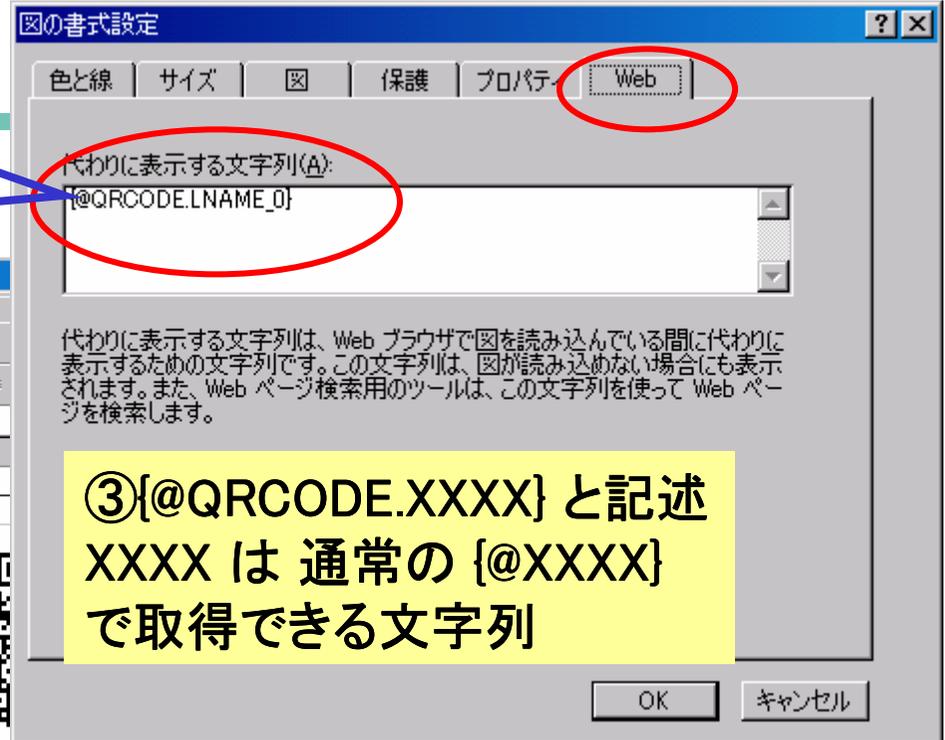
【解説】

EXCEL帳票に、2次元バーコードのQRコード対応機能を追加します。
使用方法は、EXCELでバーコードの領域の画像を挿入後、『図の書式設定』、『Web』の文字列欄に、{@QRCODE.XXXX} と記述します。
この、XXXX は 通常の {@XXXX} で取得できる文字列で、この文字列を2次元バーコードに変換します。

バーコード画像ファイルは、そのHTMLファイルの画像アドレス部
(src=“./帳票ID.files/image00x.gif” 等)の個所に、
src=“./帳票ID.files/XXXX.png” という画像ファイル名を自動セットします。
XXXX は、ヘッダー,フッター,ボディーの各カラム名が使用できます。
(ボディーの場合は、{@QRCODE.MESSAGE_0} など 通常と同様です。)

代わりに表示する文字列(A):

{@QRCODE.LNAME_0}



③{@QRCODE.XXXX} と記述
XXXX は 通常の {@XXXX}
で取得できる文字列

①帳票雛型は、ダミーの
QRコード画像を貼り付け
ます。(位置、大きさ指定
の為)

②右ボタンで“図の書
式指定”で、Webを表示

Microsoft Excel - TEST8.html

次ページ(N) 前ページ(P) 拡大(B) 印刷(T)... 設定(S)... 余白(M) 改ページプレ

サンプル 2005/1/15 22:49

帳票イメージです。

言語	日本語	
表示順	0	
画面ID	01Logout	
名称	ログアウト	
言語	日本語	
表示順	1,010	
画面ID	0E0000	
分類	メニューなし	
名称	DEFAULT SET	
言語	日本語	
表示順	2,010	
画面ID	0E0101	
分類	0E定義	
名称	テーブルスベース	

印刷プレビュー: 1 / 1

指定のカラムに対応した画像を自動作成して、リンクを書き換えます。それにより、行毎に2次元バーコードを作成することが出来ます。

D:\webapps\#dbdef2\filetemp\REPORT\GE\TEST8

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) >>

戻る 検索 フォルダ 移動

アドレス(D) D:\webapps\#dbdef2\filetemp\REPORT\

名前	サイズ	種類	更新日時
TEST8.files		ファイル フォルダ	2005/01/12 17:42
10_000.html	37 KB	HTML Document	2005/01/11 8:56
10_001.html	38 KB	HTML Document	2005/01/12 17:42
10_002.html	38 KB	HTML Document	2005/01/12 17:42
10_003.html	38 KB	HTML Document	2005/01/12 17:42
10_004.html	38 KB	HTML Document	2005/01/12 17:42
10_005.html	38 KB	HTML Document	2005/01/12 17:42
10_006.html	38 KB	HTML Document	2005/01/12 17:42
10_007.html	38 KB	HTML Document	2005/01/12 17:42

D:\webapps\#dbdef2\filetemp\REPORT\GE\TEST8\TES...

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) >>

戻る 検索 フォルダ 移動

アドレス(D) D:\webapps\#dbdef2\filetemp\REPORT\

名前	サイズ	種類
image006.jpg	8 KB	JPEG イメージ
image007.jpg	8 KB	JPEG イメージ
image008.jpg	8 KB	JPEG イメージ
image009.jpg	8 KB	JPEG イメージ
image010.jpg	8 KB	JPEG イメージ
LNAME_0.png	1 KB	PNG イメージ
LNAME_1.png	1 KB	PNG イメージ
LNAME_10.png		
LNAME_11.png		
LNAME_12.png		
LNAME_13.png		
LNAME_14.png		
LNAME_15.png		
LNAME_16.png		
LNAME_17.png		
LNAME_18.png		

帳票ID.files フォルダに自動作成した画像が置かれる。画像へのリンクはこのファイルを指す。

【Q114】帳票の雛型となる2次元バーコードを出力したい

【A114】GE2012(2次元バーコード(QRコード))画面を利用してください。

【作業分類】 試験導入

【前提条件】 Ver 3.6.1.0 (2005/01/05) 以降標準

JAVA_HOME¥jre¥lib¥ext に、Qrcode.jar をインストール

【解説】

EXCEL帳票に、2次元バーコードのQRコードを追加する場合、まず、同じ大きさの画像を用意し、雛型を作成します。

適当な大きさでは、レイアウトが狂ってきます。

使用するためには、JAVA_HOME¥jre¥lib¥ext に、Qrcode.jar をインストールする必要があります。

QRコードには、errorCorrect、encodeMode、Version という、QRコードの画像ファイルを作成するにあたり、必要なパラメータを決める必要があります。

さらに、Pixel、imageType などの情報も、画像サイズ等に影響します。これらのパラメータは、帳票標準として決めておく必要があります。

DB定義DBシステム - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

アドレス(D) http://localhost:8823/dbdef2/jsp/index.jsp

2次元バーコード(QRコード) GE2012 2005/01/16 00:16:03
query.jsp C00000 : システム管理者

テキスト あいうえお errorCorrect: M encodeMode: B Version: 5
Pixel: 3 imageType: PNG Version Catalog

検索(F) クリア

2次元バーコード(QRコード)

QRコードは、エラーレベルやモード、画像のビット数など、色々なパラメータがあります。

2次元バーコードを動的に作成するサンプル画面です。ここで、画像の大きさ等を指定しておきます。

各バージョンにより指定できる文字数が異なります。

result.jsp C00000 : システム管理者

バージョン	モード	エラーレベル	データビット数	総ビット数	最大文字数	バイナリ	備考
1	L	152	81	23	17	10	
	M	128	88	23	14	8	
	Q	104	96	18	11	7	
2	H	72	117	19	9	4	
	L	272	77	41	20	20	
	M	224	88	28	16	16	
3	Q	176	104	28	20	12	
	H	128	127	33	14	8	
	L	448	127	33	20	20	
4	M	352	101	40	20	20	
	Q	272	117	41	20	20	
	H	208	135	38	24	15	
5	L	640	147	54	28	28	
	M	512	146	58	30	30	
	Q	384	161	61	28	20	
6	H	336	182	66	34	21	
	L	964	202	74	38	38	
	M	696	202	74	38	38	
7	Q	496	144	81	40	37	
	H	368	166	84	44	37	
	L	1,088	222	90	44	44	
8	M	964	256	104	50	50	
	Q	608	176	105	44	40	
	H	480	198	94	50	30	
9	L	1,248	270	114	54	54	
	M	960	282	120	54	54	
	Q	704	307	126	58	50	
10	H	528	194	130	64	39	

ページが表示されました

イントラネット

【Q115】帳票で同一要求番号でのキーブレイク処理をしたい

【A115】{@PAGEBREAK_XX} という変数に、ブレイク判断したい値を設定してください

【作業分類】 帳票新機能追加 JCS 吉田殿 ご相談

【前提条件】 Ver 3.7.0.1 (2005/01/31) 以降

【解説】

帳票の雛型のある個所に、{@PAGEBREAK_XX} という変数に、ブレイク判断したい値を設定してください。(_XX の個所は、行番号が入ります。) このキーを見つけると、見つけた変数の値と、その次の値をチェックし、異なる場合は、その個所(その文字列を含む個所の後ろ)でページブレイクします。

ページブレイク後の処理は、そのページが終了するまで、全ての設定値に、ゼロ文字列(“”)が設定されます。よって、ブレイクで強制改ページではなく、以降のレイアウトは、そのまま保持されます。

また、{@PAGEBREAK_XX} 変数は、帳票レイアウト上では、行の右端に配置してください。

なお、{@PAGEBREAK_XX}は、帳票には表示されません。

雛型作成時に、
{@PAGEBREAK_XX}形式で
ページブレイクさせる値を
セットします。
帳票レイアウトとして、ブレイク
キーとなるデータを登録します。

帳票レイアウトテーブル登録

システムID: 帳票ID: TEST9
テキスト区分: ボディ 使用フラグ:

<input type="checkbox"/>	8	TEST9	ボディ	ROLES	80	253	10	使用
<input type="checkbox"/>	9	TEST9	ボディ	RWMODE	90	263	8	使用
<input type="checkbox"/>	10	TEST9	ボディ	TARGET	100	271	10	使用
<input type="checkbox"/>	11	TEST9	ボディ	PAGEBREAK	110	281	20	使用

Microsoft Excel - TEST9.html

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式(O) ツール(T) データ(D) ウィンドウ(W) ヘルプ(H) 100% MSゴシック 11

分類	名称
{@CLASSIF.}	{@LNAME_0}
{@CLASSIF.}	{@LNAME_1}
{@CLASSIF.}	{@LNAME_2}
{@CLASSIF.}	{@LNAME_3}
{@CLASSIF.}	{@LNAME_4}
{@CLASSIF.}	{@LNAME_5}
{@CLASSIF.}	{@LNAME_6}
{@CLASSIF.}	{@LNAME_7}
{@CLASSIF.}	{@LNAME_8}
{@CLASSIF.}	{@LNAME_9}
{@CLASSIF.}	{@LNAME_10}
{@CLASSIF.}	{@LNAME_11}
{@CLASSIF.}	{@LNAME_12}
{@CLASSIF.}	{@LNAME_13}
{@CLASSIF.}	{@LNAME_14}
{@CLASSIF.}	{@LNAME_15}
{@CLASSIF.}	{@LNAME_16}
{@CLASSIF.}	{@LNAME_17}
{@CLASSIF.}	{@LNAME_18}
{@CLASSIF.}	{@LNAME_19}
{@CLASSIF.}	{@LNAME_20}

Murat

【Q116】帳票デーモンの印刷処理でタイムアウトを指定

【A116】SystemResource で REPORT_DAEMON_TIMEOUT に、定義します。
初期値は、300秒

【作業分類】 修正/機能追加 川東殿 ご依頼

【前提条件】 Ver 3.6.1.0 (2005/01/05) 以降

【解説】

帳票デーモンの印刷処理(ReportPrint)で使用している Shell にタイムアウト時間を追加します。帳票デーモンタイムアウト時間は、SystemResourceで REPORT_DAEMON_TIMEOUT パラメータとして、定義します。
初期値は、300秒です。

Shell で、プロセス実行処理のタイムアウトを追加しました。
タイムアウト時間は、SystemResourceで SHELL_TIMEOUTパラメータとして定義します。
初期値 0秒(割り込みがありまで待ちつづける)です。

【Q117】帳票デーモンをマルチスレッドで起動したい

【A117】帳票デーモンのWHERE条件を、振分条件マスタ(GE53)のデーモングループを参照するように仕様変更

【作業分類】 帳票仕様変更

【前提条件】 Ver 3.7.0.0 (2005/01/11) 以降

【解説】

帳票出力処理で、他のシステムの大量出力に影響されないように、デーモンスレッドを、システムID+デーモングループでマルチ起動します。この仕様変更に基づき、GE53 に項目(DMN_GRP)を追加します。

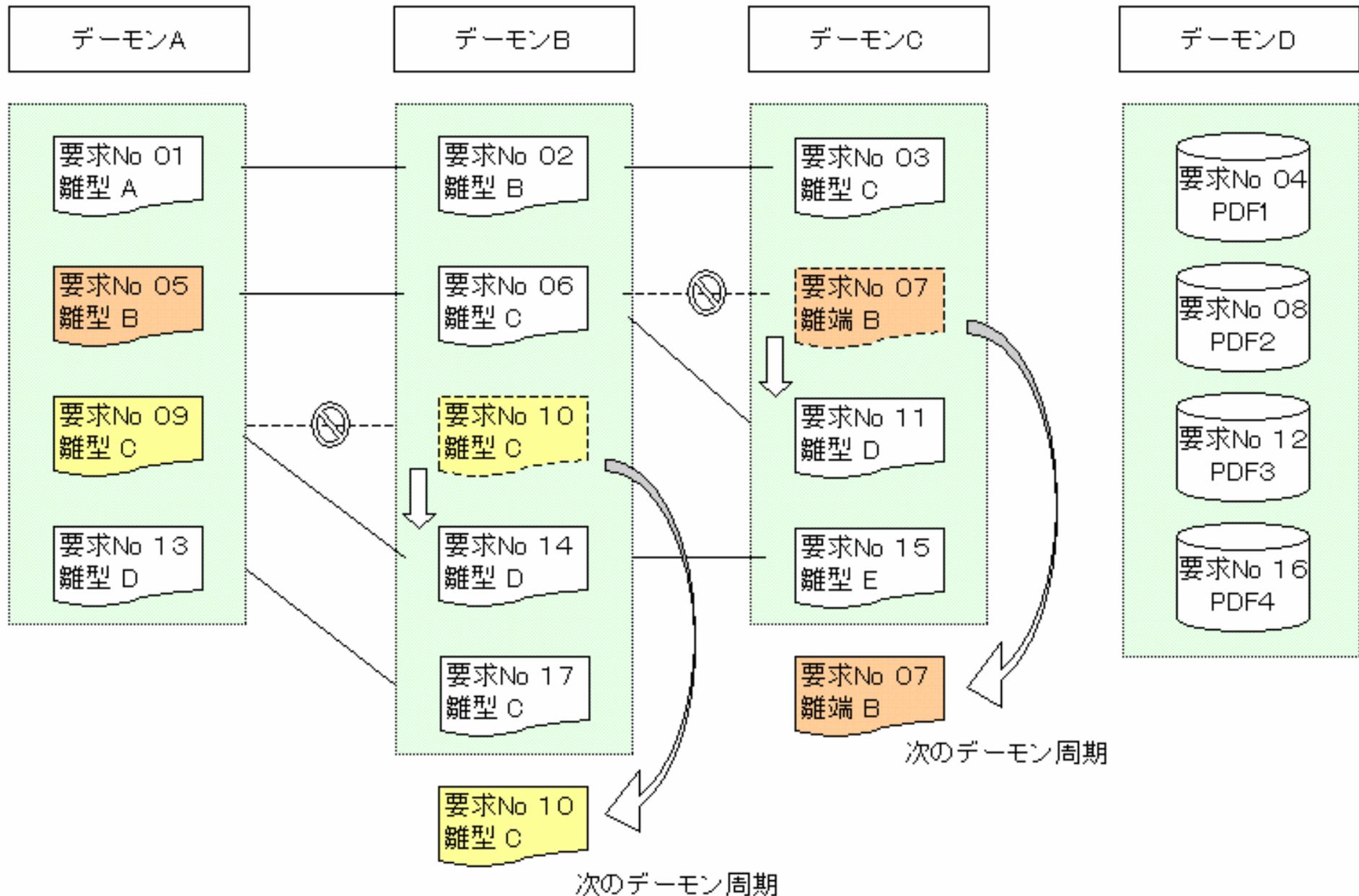
このVersionのエンジンで帳票システムを実行するには、必ず、テーブルの項目を追加しておく必要があります。

(でないと、SQL実行エラーが発生します。)

デーモンのWHERE条件の指定には、SYSTEM_IDとDMN_GRPを指定します。デーモングループの初期値は、‘DG0000’ です。

なお、今回の変更で、検索順を指定する REPORT_DAEMON_ORDER_BY 属性を廃止します。

【Q117】帳票デーモンをマルチスレッドで起動したい



振分条件マスタ登録

HELP REP04 2005/01/17 12:21:28
query.jsp C00000 : システム管理者

システムID: 振分条件: 言語: デーモングループ:
実行方法: プリントID: 検索順: 振分条件
検索(F) クリア ◀ BACK NEXT ▶ 表示件数: 100 1142 [ms]

振分条件マスタ登録 REP04 result.jsp C00000 : システム管理者
9 件検索しました。

複製(C) 変更(M) 削除(D) 保存 開く [1-9]/[9]

<input type="checkbox"/>	No	振分条件	プリントID	実行方法	デーモングループ	実行PGDIR	コメント	システムID	言語	DMP_TIME	状態フラグ
<input type="checkbox"/>	1	*****		HTML出力のみ	0000	D:\webapps\dbdef2\de		GE	日本語	5	活動中
<input type="checkbox"/>	2	ACROBAT	ACROBAT	出力 + 印刷	0000	D:\webapps\dbdef2\de		GE	日本語	5	活動中
<input type="checkbox"/>	3	EXCEL	EXCEL	HTML出力のみ	0000	D:\webapps\dbdef2\de		GE	日本語	5	活動中
<input type="checkbox"/>	4	LP8900	LP8900	HTML出力のみ	0000	D:\webapps\dbdef2\de		GE	日本語	3	活動中
<input type="checkbox"/>	5	NX700	NX700	HTML出力のみ	1111	D:\webapps\dbdef2\de		GE	日本語	5	活動中
<input type="checkbox"/>	6	PDF	PDF	出力 + 印刷	PDF	D:\webapps\dbdef2\de		GE	日本語	5	活動中
<input type="checkbox"/>	7	PDF2	PDF	HTML出力のみ	PDF	D:\webapps\dbdef2\de		GE	日本語	5	活動中
<input type="checkbox"/>	8	*****		HTML出力のみ	0000	D:\webapps\dbdef2\de		ZY	日本語	5	活動中
<input type="checkbox"/>	9	PDF2	PDF	HTML出力のみ	PDF	D:\webapps\dbdef2\de		ZY	日本語	5	活動中

- 【ログアウト】
- 【DB定義】
- 【リソース定義】
- 【ORACLE】
- 【帳票管理】
- 要求テーブル
- データテーブル
- レポートテーブル
- 振分条件マスタ
- 定義マスタ
- 出力先マスタ
- エラーテーブル
- 帳票デモン
- 【ドキュメント】
- 【更新履歴管理】
- 【成果物・進捗管理】
- 【Type1(一覧登録)】
- 【Type2(明細登録)】
- 【Type3(エントリ)】
- 【Type4(一覧登録)】
- 【Type5(その他)】
- 【TypeS(検索)】
- 【サンプル】
- 【特殊機能】
- 【開発ツール】
- 【管理】
- 【検索】
- 【MIS】

システムID + デーモン
グループがグルーピン
グ対象

デーモンタイムは、
グループ内最小値
が設定されます。

DB定義DBシステム - Microsoft Internet Explorer

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

アドレス(D) http://localhost:8823/dbdef2/jsp/index.jsp

帳票デーモン設定

REP08 2005/01/17 12:11:06
query.jsp C22222 : ADMINユーザー

4 件検索しました。
[1 - 4]/[4]

<input type="checkbox"/>	No	TaskName	Deamon	System ID	Deamon Group	Deamon Time	Group Count
<input type="checkbox"/>	1	GE_0000	登録 削除	GE	0000	3	4
<input type="checkbox"/>	2	GE_1111	登録 削除	GE	1111	5	1
<input type="checkbox"/>	3	ZY_0000	登録 削除	ZY	0000	5	1
<input type="checkbox"/>	4	PDF	登録 削除		PDF	5	3

システムIDとデーモングループでグループ化されたデーモンズレッド候補が表示されます。

デーモンタイムは、グループ内最小値が設定されます。

【ログアウト】
【帳票管理】
要求テーブル
データテーブル
レイアウトテーブル
振分条件マスタ
定義マスタ
出力先マスタ
エラーテーブル
帳票デーモン
【トキメント】
【管理】

帳票デーモン設定
登録しました。 [1 - 4]/[4]

No	TaskName	UniqKey	Comment	CreateTime	scheduledTime
1	GE_0000	0	Start-up By C00000 : システム管理者	2005/01/17 12:10:04	2005/01/17 12:11:13
2	GE_1111	1	Start-up By C00000 : システム管理者	2005/01/17 12:10:05	2005/01/17 12:11:10
3	PDF	3	Start-up By C11111 : GEユーザー	2005/01/17 12:10:43	2005/01/17 12:11:13
4	ZY_0000	4	Start-up By C22222 : ADMINユーザー		

タスク名がデーモンのユニーク名

コメントにはデーモン起動者情報が入ります。

【Q118】帳票デーモンのマルチスレッド化で問題がありますか

【A118】同一帳票IDは同時に起動しません。PDF出力は、全システムで1つのデーモンです。

【作業分類】 帳票仕様変更

【前提条件】 Ver 3.7.0.0 (2005/01/11) 以降

【解説】

帳票デーモンの多重化で、同一帳票IDが同時に起動する(同一名称のEXCELの同時起動)と、アクセスエラーが発生する為、使用中の帳票IDをキープし、**同一帳票IDが同時実行しないように**、機能追加しました。すでに、帳票IDが実行中の場合は、スキップします。(完了フラグは、そのまま、'1')処理は、次の、デーモン周期で、読み取られたタイミングで、行われます。

また、PDF995では、そのサーバーのC:¥PDF995 フォルダに、出力するファイル名を書き込んでいるため、マルチスレッドで起動できません。**PDF出力は、全システム共通の1つのデーモンスレッドで処理**します。